

北海道浮魚ニュース

平成 10 (1998) 年度 20 号 (通巻 No.41)

1998 年 10 月 1 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6226
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

オホーツク海サンマ先達船調査結果

1998 年 9 月 9 日～12 日および同 9 月 20 日～21 日の間に行われた、紋別漁業協同組合所属勢幸丸によるオホーツク海サンマ先達船調査が終了しましたので、その結果をお知らせいたします。

● 海況 (図 1)

9 月 9 日～12 日に枝幸～紋別沖で行った調査では、沙留沖に 14℃台の冷たい水があったものの、全体に 17～19℃台で、オホーツク海におけるサンマの分布水温としては高い状態でした。

9 月 20 日～21 日に湧別～サロマ湖沖で行った調査では、9 月 9 日～12 日の調査時より全体に降温した模様で、沖合は 15℃台より低く、この時期この海域でのサンマの分布に適した水温帯と思われました。

● 探索・目視調査結果 (図 1)

9 月 9 日～12 日に枝幸～紋別沖で行った調査では、9 月 11 日に行った興部沖 (雄武と沙留の間) の水温 16℃台の地点で、航海探索中に中型サンマ 1 尾のハネが見られましたので、停船して目視しましたが、集魚しませんでした。その他の地点では目視されたサンマは皆無でした。

9 月 20 日～21 日に湧別～サロマ湖沖で行った調査では、9 月 20 日に行った湧別沖の水温 17℃台の地点で体長 15cm 程度のサンマが数尾目視されたのみで、その他の地点では目視されたサンマは皆無でした。

● その他の情報

9 月 28 日、道東太平洋から回航した 4 隻のサンマ棒受網漁船によって、網走港にサンマ 116 トンの水揚げがありました。漁場は北見大和堆北東端の水温 12～14℃台の海域でした。しかし漁船はその後すぐ道東太平洋に戻ったようです。

また現在、9 月 28 日から稚内水産試験場試験調査船北洋丸によるオホーツク海サンマ初漁期調査が行われており、上記の漁場が形成された海域の東西でサンマが目視されています。2 地点でそれぞれ流し刺網 2～4 反を使用し、1 千～2 千尾程度が漁獲さ

れました。魚体は刺網の目合によって異なりますが、体長 25cm 前後が主体のようです。詳しい結果は調査終了後お知らせいたします。

(文責 網走水試資源管理部)

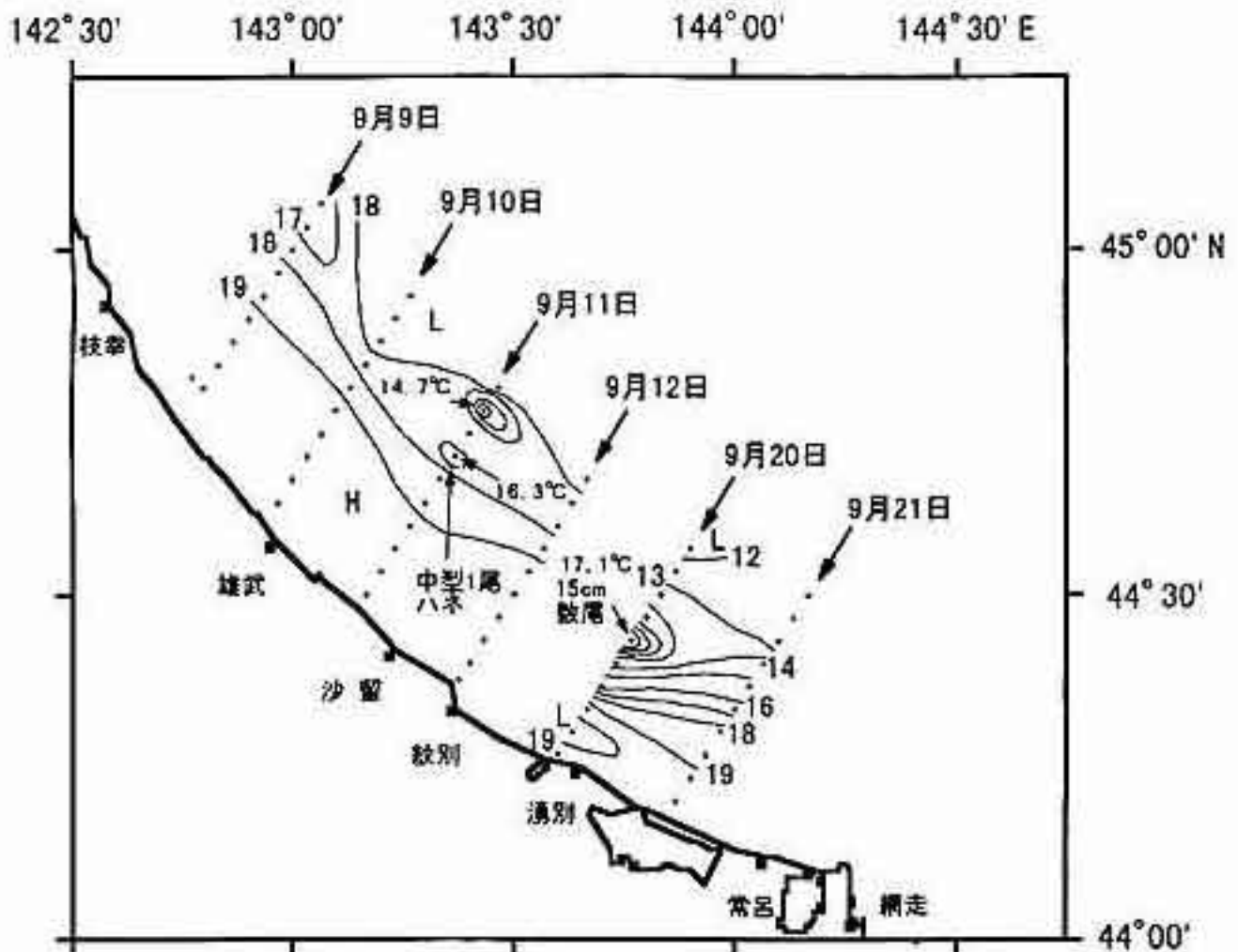


図1. 先達船調査によるサンマ探索・目視調査結果と表層水温 (°C)
何も記入していない地点では、目視されたサンマは皆無でした。